

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達サポートセンター じゃんぼっぶ		
○保護者評価実施期間	令和6年9月18日		～ 令和6年10月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和6年9月18日		～ 令和6年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様や保護者様に寄り添う支援を行なっている。	・保護者様の意見や要望を支援内容に取り入れている。 ・LINEを活用し、連絡などをこまめにする様に取り組んでいる。	・より保護者様から意見など言いやすい環境を作っていきたい。
2	・一人一人の発達に合わせた支援を行なっている。	・同じ活動でも個別に合わせ支援内容を考えた活動を行なっている	・保育士それぞれの関わり方を共有し、利用児がより楽しく活動が行える様に取り組んでいきたい
3	・満足度も高く評価いただけたこと	・じゃんぼっぶらしい支援(苦手克服にこだわらず好きや得意をどんどん伸ばそう)を忘れず、利用児に合わせ、無理をさせないでやりたいことを思い切りできる支援を心がけています。	・今後もぶれない支援で職員同士で声をかけながらじゃんぼっぶにしかない支援を継続していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・相談会であるじゃんぼっぶ会への参加が叶わない。	・初めて参加することの不安や、ご勤務されている方が参加しづらい。	・より魅力的な内容になるように、参加人数を増やしていきたい。
2	・地域外部の招待など外部へ向けて活動を行っていない。	・内部の支援をしっかりと行なっていこうと思い、子供達が初めてのことに苦手な子が多く、計画していなかった。	・今後は利用児が直接関わらないでも可能なバザーなどで地域に向けての活動を計画する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達サポートセンター じゃんぼっぼ

公表日 令和6年10月23日

利用児童数 年 月 日 回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				・粗大運動（ジャングルジムやトランポリンなど）も楽しくできるスペースがあり嬉しそうです。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11				・いつも丁寧に手厚くサポートしていただいていると思います。ありがとうございます。 ・通所すると、すぐ迎えてくださり助かっています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				・始まり、終わりの会をするところとその日の活動を行うところが分かれており、分かりやすいと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11				・以前、2階のお部屋の畳のい草が少し気になりました。 ・お手洗いや洗面所も利用しやすいところにあり、安心できます。	・活動は1階で行なっておりますが、気になることがございましたらお知らせください。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				・子どもに合わせた療育を行なっている為楽しく通わせてもらっています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11				・水遊びやお祭りごっこなどその時に合ったイベントも開催していただいています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				・無理のない内容で目次ニーズに合っています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				・親子それぞれに合った支援を設定していただいています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11				・目標を概ね達成することができているので計画に沿った支援だと考えます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				・様々な内容が組まれていることを毎月の活動内容から知ることができそうです。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2		1	・子ども同士の交流はないと思いますが、先生が園に出向き園での生活がスムーズにいくよう取りはかっています。	・皆様平行通園の利用ですので、事業所としての交流の機会は設けておりません。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11				・適時用紙の配布があり、不明点あれば答えていただいています。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11				・適時用紙の配布があり、不明点あれば答えていただいています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11				・就学前の勉強会の案内があり、参加して進路を決めることができました。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11				・来所時に前回の出来事を教えてもらえたりするので助かります。 ・連絡帳があるので、直接お話しできなくても安心できます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				・困りごとにはすぐ対応して下さり感謝しています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				・子供の成長をほめてくれたり一緒に喜んでくれるのがうれしいです。 ・いつも登所中の様子を詳しくお伝えいただき助かっています。 ・どの職員の方もやさしく、あたたかく迎えて下さるので親子でほっとできる場所です。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1		3	・じゃんぼっぶ会もあり、交流できる場だと思えます。紹介していただいた「きょうだい児の勉強会」は個人的には自分たちが一番悩んでいる時に参加することができ、その日を境に前向きになれたように思います。	・じゃんぼっぶ会は皆様の交流や学びの場所になるよう開催しておりますので、ぜひご参加ください。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				・時にはメールや電話でも対応して下さり、大変助かりました。		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					・LINEで連絡できるのが便利でありがたいです。 ・どの職員さんにお話ししても情報を共有していただけるので対応がスムーズです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			1	・個人的にはお金がかかってもカラーの写真やLINEで写真を頂けるととてもうれしいです。 ・じゃんぼっぶ便りやLINEでもお知らせがあり便利です。	・ご意見ありがとうございます。カラーでの対応ができるか検討させていただきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					・情報が漏れていると感じたことはありません。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				・活動予定表を通じて訓練の実施の有無を知らせてくれます。		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1	・活動予定表を通じて訓練の実施の有無を知らせてくれます。	・お便りにも訓練の様子を載せるようにいたしましたのでご覧ください。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1	・大雨や台風の時は事前に活動の有無を知らせていただけるので安全第一での対応を心がけているのが伝わります。	・安全第一で支援を行なっておりますが、何かお気づきのことがございましたらお知らせください。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				・怪我以外の体調の変化も教えてくれます。		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				・安心して自分を出せていると思えます。 ・じゃんぼっぶに通う日はほっとします。安心して仕事に行くことができます。	・皆様にこの様な評価をいただき、職員の励みになります。本当にありがとうございます。今後もより良い支援活動を精一杯行っていきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				・毎週楽しみに登所させていただいてます。いつもありがとうございます。 ・「じゃんぼっぶ！じゃんぼっぶ！」と発語するようになりました。きっと楽しいからだと思えます。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				・じゃんぼっぶの先生方とずっと一緒に育児を楽しみたいです。これからもどうぞよろしくお願ひします。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 こども発達サポートセンター じゃんぼっぷ

公表日 令和6年10月23日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・基準以上の配置で手厚い支援ができています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・運動するスペースと机上で活動するスペースをパーテーションで区切ることによりわかりやすく過ごせるようにしている。	・バリアフリーにはなっていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・子どもたちの落ち着ける場所、安心して過ごせる場所を作るようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		・第三者委員会は現在設置していない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・子どもたちの姿から子どもたちに必要で楽しめる活動を職員間で考えている。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・子ども達の安心して取り組める活動(経験をしていること)と、新しい活動がバランス良く取り入れられている。 ・新しい活動も子どもたちの様子を見てタイミング良く入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		・支援方法は今後も何度も検討し、より良い支援をしていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・いろんな視点から子供達を見て理解し、子どもに合った支援ができるよう職員間で伝え合うことを大切にしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	・電話やメールでも必要があればやりとりをしている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・利用児全員が園に所属し、他の子どもと活動する機会がある。	・並行通園の利用なので事業所としての活動は特に行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7					
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			・家族からの話や、じゃんぼっふのーとに書いてあることはすぐに上司に報告し、必要な支援につながるようになっている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7				・きょうだい間の交流を検討していきたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7					
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7					
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7					
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7					
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4				・バザー等の機会を作り、地域の人と関われることを検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7					
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7					
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7					
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6					・対象児なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1				・整備中。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1				・不十分。今後周知していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8					
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8					
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7						